

〒093-0013

北海道網走市南3条西3丁目

TEL 0152(43)3031

FAX 0152(43)6615

<http://www.cci.knc.ne.jp>

平成25年2月1日

No. 207

産学官の連携を強化し オール網走で雇用創出を目指す



新年交礼会を開催

1月9日(水)
ホテル網走湖荘
において当所新年交礼会が開催されました。

その中で中原会頭は年頭の挨拶として「地域の社会環境は相変わらず厳しい状況であり、その中でも人口減少は大きな課題である。少子高齢化が進む中、当地の環境を活かした定住人口の拡大に向けた雇用の創出が不可欠」と話し、その上で「これまでの苦難を乗り越えてきた我々や皆様方ならば、第2、第3の創業を成功させることが可能である。」

今後、当所では産学官の連携を強化し、起業家と会員企業の発展に力を注ぎ支援したい。

また、一次産品の高付加価値化と観光施策の推進に取り組むほか中心市街地活性化などの地域経済の活性化に向けて取り組む」と新年の抱負を示しました。

来賓として参加いただいた水谷洋一市長や佐藤伸弥道議は、当所の方針に賛同を示し、お互いに協力し合いオール網走で地域を盛り上げていきたいとお話いただきました。

その後、工藤英治市議会議長の乾杯で懇親会が開催され、議員相互の親睦を深め盛会の内に終了しました。



議員会通常総会を開催



松田議員会長の挨拶

1月9日(水) ホテル網走湖荘において議員会の通常総会を開催しました。

総会には議員44名が出席し、「行動する議員会」をスローガンに昨年度の事業・収支決算報告が承認されたほか、新年度の事業計画が決定しました。

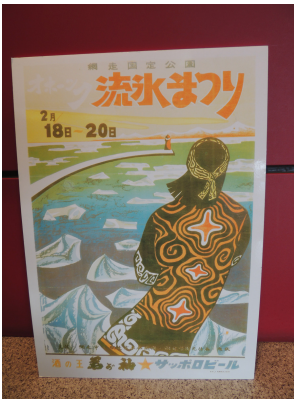
松田会長は「新年度の議員会は、行動し参加する議員会を目指し、横の連携を大切に議員相互の親睦を深めていけるよう、議員皆様の協力をお願いしたい」と呼びかけました。

新年度事業に向けた
事業計画を決定!

流氷まつりの経緯

網走の流氷まつりは、昭和41年に、当時全国の商工会議所中で一番若かった田辺会頭の呼び掛けで、暮れもせまった中、視察に行く時間もなく指導者もない手探り状態の中、急遽スタートすることになりました。年明けに網走湖の氷を切るこの話があり、切り出すための道具や運ぶための手段となる馬やソリがあったことから、切り出した氷を運びステージのバックに積み上げてレリーフにしたのがメイン像の第1号となりました。

当時の雪像・氷像の出品数は20基で、主なイベントは、オープニングセレモニー、オロチヨンの火祭り、ミス流氷発表会、水中水泳大会、バンド演奏、氷上カーニバルなどが開催されました。



記念すべき第1回 流氷まつりのポスター

流氷まつりの開催地

○流氷まつりが開催されて本年で48回目を迎えますが、開催場所については何度も場所を変更し、現在に至っております。

(回数・開催地)

回数	年	開催地
第1回～2回	昭和41年～42年	中央小跡地
第3回～4回	昭和43年～44年	網走市民会館
第5回	昭和45年	浜網走駅跡地
第6回～12回	昭和46年～昭和52年	網走中央公園
第13回～18回	昭和53年～昭和58年	中央公園広場 中央駐車場
第19回～48回	昭和59年～平成25年	網走商港埠頭

※開催まもない頃は、機械などがなく、湖から氷を切り出す道具も大型のノコギリでした。氷の搬送も馬ソリを使用しておりました。

流氷まつりの氷雪像制作

現在、メイン像とスポンサー氷像以外は、毎年、一般市民ボランティアの協力により、多くの氷雪像を出品いただいております。

皆様が苦勞して制作いただいた氷雪像は、流氷まつりの主役となり会場をより一層盛り上げてくれるものです。

それではこの機会に一般的な雪像の作り方についてご紹介します。

雪像制作手順



③表面を磨いて仕上げて完成



寒くてとても大変な作業ですが、仲間意識の向上や思い出に繋がります！



①枠組み～雪入れ



②枠組を外し・削り出し



第48回あばしりオホーツク流氷まつりの開催について



昨年の流氷まつり会場の様子

本年の流氷まつりは2月9日から11日の3日間、網走商港埠頭広場で開催されます。

期間中は、

雪や氷を楽しみむイベントとしてキラクターショーや市民参加型の催しが満載の予定です。

現在、流氷まつりの主役となるメイン像や一般市民が作る氷雪像の制作の真っ最中で、多くの市民や団体が観光客に楽しんでもらおうと、仕事終わりの夜に集合し、汗を流しながら一生懸命に制作にあたっております。

是非、この機会に足を運んでいただきたいと思っております。



メイン像タイトル「カムイテカブの預言」

オホーツク文化を発信するモヨロ貝塚館の改築事業に合わせ、貝塚を守り育てた郷土史考古学研究科の故、米村喜男衛氏原作の「チバシリ物語」をベースに作成。

◆ 会員さんへお知らせ ◆

営業職員のご紹介 商工会議所の共済は 私たちにおまかせ下さい!

会議所のクリオネ共済、特定退職金共済制度など当所会員事業所がご加入いただける共済制度の普及促進のため、アクサ生命保険㈱の営業職員が巡回させていただきます。



佐々木より一言
地域密着をモットーにがんばります。

佐々木 善広 昭和 44. 10. 29 (43)



森田より一言
お客様との会話を大切に、「親切第一」に対応します。

森田 政信 昭和 40. 9. 9 (47)



狩野より一言
早く会員の皆様に顔を覚えていただけるよう頑張ります。

狩野 一彦 昭和 39. 12. 4 (48)

受講者 1 名につき 10,000 円を助成します (1 事業所につき 2 万円を限度とします)

当該年度の講座は下記のとおりです。
詳細については、中小企業大学校：旭川校のホームページをご確認下さい!

HP:<http://www.smri.go.jp/inst/asahikawa>

(TEL 0166-65-1200 FAX 0166-25-2190)

コース名	期 間	定員	受講料
営業力強化シリーズⅣ	2月18日～19日 (2日間)	20名	25,200円
目標達成のためのリーダークラウド向上講座	3月5日～8日 (4日間)	20名	42,000円

中小企業大学校旭川校の研修の
事業内容について

(網走商工会議所女性会) 女性会だより

女性会では、1月28日(月)寿し安において1月例会(新年会)を開催しました。新年会には中原会頭も来賓として参加され、女性会メンバーに向けて次のおしり、挨拶がありました。「これからは女性の感性が地域活性化をおこなう上でとても重要である。本年、当所の事業



計画として「ものづくり」「ひとづくり」「まちづくり」について取り組みが、女性ならではの鋭い視点や効率的な考え方はとても重要である」と話し、その後、新年度に向けた抱負などについて語り合った他、余興などがおこなわれ終始和やかに終了しました。

(網走商工会議所青年部) YEGだより

YEGでは、1月23日(水)、ホテルしんばしにおいて、1月例会(新年会)を開催しました。例会には、40名のメンバーが参加。来賓として網走市水谷市長をはじめ中原会頭や北村青年部OB会長に参加いただきました。当例会では、本年二十周年を迎えることから、メンバーに入会した時の思い出やこれまで取り組んできた事業、新年の抱負などについてスピーチしていただきました。

その後、思い出話など語り合うなどし、会員同士の親睦を深め、成会裡に終了することができました。



新年会で盛り上がるメンバーの様子

会員さんの紹介⑪

こいけでんき 事業主 小池 雄幸 さん

こいけ ゆうこう

今回紹介する「こいけでんき」さんは、網走アプト4商店街において61年間、街の電気屋さんとして網走市民に親しまれているお店です。

創業は昭和27年に現事業主（雄幸さん）の父である先代の小池昭二さんが、既製品の衣服が少なくこの家庭でも主婦自らがミシンを使って洋裁していることに着眼し、ミシン販売業として開業しました。

しかし、高度経済成長期に突入すると主力商品であったミシンよりも、三種の神器と呼ばれる家電製品（テレビ・冷蔵庫・洗濯機）が一般家庭に普及してくるようになり、時代に合わせて一般家電製品を取り扱う店に変えていったそうです。

4年前に先代が亡くなり事業を引継いだ雄幸さんは、当時を振り返り「30年前は大型家電取扱店も少なくて店にいればお客様が来てくれた時代。昨年までは国の補助事業である地デジ化や環境保全によるエコポイントがあり、テレビや冷蔵庫を買い替える消費者が多くみられたが、今年からはそのような優遇措置

もないことから業界も厳しくなることを予測しております。

しかし、どの業界も厳しい状況は変わらない中で他店と違ったサービスを展開し、自店の個性を出すことが大事だと思っています。今までも仕事をしてきて苦しいと感じたことは一度もなく、仕事が無いことが一番つらい」と述べられました。

今後の展望としては「大型店と価格で勝負をしても敵わないのは理解している。当店は街の電気屋として大型店では出来ない小回りのきいたサービスと、きめ細かな対応や信頼を武器に価格以上のサービスをお客様に感じていただく

だけるようがんばります」とお話しくださいました。



網走勤務経験者があつまる、アウトドアスポーツの話題で熱く

なっている。そんな光景をよく目に

してきました。ですから網走勤務が決まったときには完全にすり込まれて

いました。マラソンは無理にしても、サイクリングとクロスカントリース

キー、登山には挑戦せねばならぬと。そこでまずはオホーツクサイクリン

グから始めました。1年目は、登り坂が苦しくて何度も降りかけま

したが、沿道の人達の手前それもままならず、必死で持ちこたえました。

2年目は、自転車を新調してサイクリングロードでの練習も増やし、少し

し楽に走れるようになりました。また、登山では斜里岳と羅臼岳に

挑戦しました。特に斜里岳には登ってみてビックリしました。溪流沿いの湿った岩壁を蟹のように横伝い

するので。下は岩だらけの急流。

風の人(転勤族)からみた網走(11)

網走開発建設部

部長 板倉 純 さん

身がすくむ思いでしたが、頂上に立つと雲海と北方領土が鮮明に見える大パノラマに感激しました。羅臼岳では途中、野生のヒグマを観察でき、これも感激でした。

最大の難関はクロカン大会です。25キロコースでしたが、海からの逆風に煽られ、ふらふらになり、最後は倒れ込むようにゴール。高齢者や小学生よりも下位という成績でした。

今年のコツを覚えて格好良く完走したいと思います。

「年明けから天都山で練習だ」と書いていて自分も網走のアウトドアスポーツを熱く語っていることに気づきました。

網走市の施設である呼人のスポーツトレーニンングファイルドもとても広くて立派です。

私のような初心者であっても気軽にアウトドアスポーツを満喫する出来るところが、網走に勤務の大きな魅力であると感じています。

※次号は、(株)デンソー網走テストセンターの江崎正美様を予定しております。